



小田小だより

平成29年4月号

〒236-0052 横浜市金沢区富岡西1丁目69番1号 Tel 045(775)3011

<http://www-local.edu.city.yokohama.jp/sch/es/koda/>

横浜市立小田小学校

ご入学、ご進級おめでとうございます！
～「一人一人が花！」の思いをもって～

学校長 木村 昭雄

春の風にそよと揺れる校庭の木々。職員玄関前の見事に咲いたチューリップやツルコザクラの花々と柔らかな日の光・・・4年前の4月1日、小田小学校に初出勤したときの光景です。すばらしい伝統を築き上げている小田小学校の8代目校長として着任した喜び、緊張感、そして心の底からわき上がってくる熱き思い。小田小学校長としてのスタートを切ったあの日、あの時の気持ちは咲き誇る花々の光景とともにいつまでも忘れることができません。

私は、3月31日付をもちまして定年退職し、4月1日付けをもちまして再任用校長として小田小学校で5回目の春を迎えることになりました。「子どもたち、一人一人が花！」の思いをもち、保護者の皆様方と地域の皆様方のご期待に応えられるよう、うんと頑張っております。引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

春爛漫の今日、120名の元気な1年生が入学し、全校児童638名で平成29年度がスタートいたしました。保護者の皆様、お子様のご入学、ご進級、誠におめでとうございます。お子様の成長する姿をご覧になって、頼もしく思っておられることでしょう。

そして、春は出会いと別れの季節。職員も本学校だよりでご案内のように、これまで本校の教育活動の推進と発展にご尽力くださいました奥山雅彦副校長はじめ、7名の職員の方々がご退任・ご昇任及び転任され、新たに5名の職員が着任いたしました。旧職員へのこれまでの温かいご支援に対しまして、心よりお礼を申し上げますと共に、新たに着任いたしました職員に対しましても、これまで同様にご理解・ご支援をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。なお、異動の詳細につきましては、後のページをご覧ください。

さて、この春休み、こんな一節を目にいたしました。

「知性がある」と「勉強ができる」は違います。「頭がいい」と「知性がある」は重なっているところもありますが、関係ないと思っていた方がいいでしょう。知性は数値化できないのです。（『負けない力』2015.7 小説家・随筆家 橋本治）

近年、「知性がある」と「頭がいい」と「勉強ができる」の三つを同じもののように考える向きがあります。これに警鐘を鳴らし、知性の復権を呼びかけているのが、表記の言葉です。

この中で、「勉強ができる」とは、学校の「成績」、試験や通知表の点数がいいことを表しています。「頭がいい」はそれよりもやや質的なニュアンスをもっていますが、「IQ」などではかることができます。いずれにしても、この両者は数値化された頭のよさを表しているにすぎないと橋本氏は言うのです。

では、「知性がある」とは、それらと比較して何が違うのでしょうか。橋本氏は言う、知性には「余分なもの」がくっついていると。「余分なもの」とは、必ずしも役に立つものではないが、人間が社会生活を営む上で備えておかなければならないさまざまな要素、たとえば「モラル」とか「マナー」といったようなものを指します。さらに言えば、自分の欲求をコントロールできる力を指しています。昨今、頭がよく勉強はできるが、自分をコントロールできない人の行状がよく報道されます。この背景には、小学校からの教育期間のうちに、数値化されないものは扱いにくいから素通りするという習慣の定着化があるのではないかと橋本氏はそれを危惧しているのです。

小田小学校は、子どもたちの今と未来にHappinessを提供するために、今求められている学力の向上と共に、心の育ちを支援していきます。

結びになりますが、教職員一同、本年度も保護者の皆様、地域の皆様方の支えをいただきながら、教育活動の一層の充実に努めてまいります。何卒、よろしくお願い申し上げます。